

日本メンテナンス工業協会会報

IAMSEC

Japan Association of Maintenance and Service Contractors

第112号

Vol. 35, No. 1 2024.9

Maintenances for the Future

目 次

[巻頭言]

今を考え、将来につなげる持続可能な企業を目指す 上田 博之 … 1

[JAMSEC News]

2024年度 通常総会、JAMSECセミナー、表彰式、懇親会 開催 … 2

2024年度 理事会役員 … 7

2024年度 事業計画 … 8

事業内容 委員会活動 … 9

メンテナンス・レジリエンスTOKYO2024 開催報告 … 13

会員各社の動静 … 14

[特別記事]

第8回日本メンテナンス工業会表彰・表彰式 … 15

受賞者紹介 … 16

[ものづくりメンテナンス余話]

我が人生 メンテナンス一筋 株式会社明電エンジニアリング 栗原 克己 … 32

[新規会員のご紹介]

朝日工業株式会社／株式会社大石工作所／協和機工株式会社

泉州プラント興業株式会社／太平電業株式会社／ツルヤマテクノス株式会社

バライジング株式会社／トーヨーカネツ株式会社／株式会社三好鉄工所 … 34

[随筆]

教育研修委員会活動の振り返り 株式会社中部プラントサービス 玉置 智也 … 39

[Coffee Break]

旅行に行こう！！ 富士電機株式会社 佐藤 康弘 … 42

[特集・プラント業界で活躍するリケジョ]

チーム力を強みに 現場が生きる設計を目指して

JFEプラントエンジ株式会社 米屋 慧美 … 44

[事業報告]

メンテナンス業務の効率化のためのICT活用に関するアンケート結果 法令・規格委員会 … 46

[技術紹介]

ポータブルフライスマシン 株式会社エスト 塩崎 強 … 54

[特集・人材育成]

JAMSEC フランジ締結技能講習制度の運用状況（続報）

—技能講習受講者が1万人を超える—

フランジ締結認定講師連絡会リーダー 近藤 康治 … 56

[会員会社紹介]

株式会社アクティオ／岩井機械工業株式会社／メタウォーター株式会社／日綜産業株式会社 … 59

[事務局より]

「会報」掲載原稿の公募について ほか … 62

日本メンテナンス工業会 頒布資料申込書 … 63

日本メンテナンス工業会 会員名簿 … 64

■ 巻頭言 ■



今を考え、将来につなげる持続可能な企業を目指す

上田 博之

株式会社中部プラントサービス
上席執行役員 営業本部長

昨今を振り返ると、世界的にコロナ危機を乗り越え普段の生活に戻りつつあるも、ロシアのウクライナ侵攻の長期化や中東情勢など、依然としてエネルギー安全保障面が不透明である。急激な円安による物価上昇も懸念される一方、半導体工場などの建設ラッシュで、建設業としては景気が良い反面、労働者の要員不足が深刻な問題となっており、我々にも影響がでてきている。このような中、今を考え、将来につなげる持続可能な企業を目指すためには、直近の課題として、「働き方改革」に向け2024年4月から建設業にも適用された、時間外労働の上限規制への対応、将来に向けてグリーントランスフォーメーション・デジタルトランスフォーメーション（「GX」・「DX」）への取り組みが必要となっている。

まず、働き方改革においては、時間外労働の上限規制が適用となり、各企業が様々な取り組みを行っている。交替要員を増やす方法もあるが、建設業では労働者不足という状況もあり、即応できていない。要員不足により、仕事を断わらざるを得ない局面もあり、お客様に多大な迷惑をかける懸念がある。我々としては、確実な工事計画を策定し、IT技術を活用した業務効率化や、ムリ・ムダ・ムラの排除等で時間外労働を削減するなど、さらなる深掘りを行っているところである。また、工事ピークを避けるため、施工時期を調整し、工事量の均平化を図ることも必須である。監督・棒心含め作業される皆様は、技術・知識・経験をお持ちである。作業を安全第一に進めるため、お客様と共に、これらの技術・知識・経験を活かして、皆で創意工夫し、働きやすい会社としたい。

次にGX・DXにおいて、政府は「投資の拡大と経済社会改革の実行」を掲げ、GX・DXを推進し、日本経済再生に向け加速させる方針をたてている。

GXは、技術革新による次世代エネルギーへの転換を図り、2050年カーボンニュートラルを目標としている。それに伴い、2023年度から10年間かけ150兆円規模の投資を行う政策が打ち出されている。これらは、我々のメンテナンス事業にも大きな影響が出るのが想定される。現在、水素・アンモニア等の活用によるCO₂削減に向けた取り組みや、SAFなど次世代燃料や蓄電池設置など、様々な分野での投資が計画されている。我々も将来に向けた取り組みを、早期に着手する必要がある。

一方、DXにおいては、データとデジタル技術を活用し、顧客や社会のニーズを基にビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争優位性を確立することを目指している。IT技術は日々進化しているが、我々がどのように活用し、効率化を進めていくかが、カギとなっている。進化が早く、戸惑いを隠せない面もあるが、組織全体で進めていかなければならない。

最後に、「働き方改革」への対応やGX・DXの推進など、スピード感を求められる課題は尽きない。しかし、達成に向けチャレンジをしなければ、企業の発展はありえない。今を考え、将来につなげる持続可能な企業を目指し、事業基盤の構築に資していきたい。そのためには、働く皆様の協力なしでは達成できない。より良い職場にするため、皆で取り組んでいきましょう。ご安全に。